

かわさを元気に動かす私たちのお金

財政のはなし



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

令和8年度 川崎市 財政読本

令和8年度	1
選ばれ続ける都市実現予算	
①「予算」は目的に応じて	3
つくられています	
②一般会計は市の予算の中心	5
最も大きな「おさいふ」です	
③市民1人あたりの	7
予算の使い道は?	
④市民生活に身近なことに	8
予算が使われています	
⑤川崎市における	9
ふるさと納税の現状と取組	
⑥行政サービスは、市税のほかに	11
市債(借金)によっても	
賄われています	
⑦みんなのまちづくり	13
～より良い川崎市にするために～	



選ばれ続ける都市実現予算



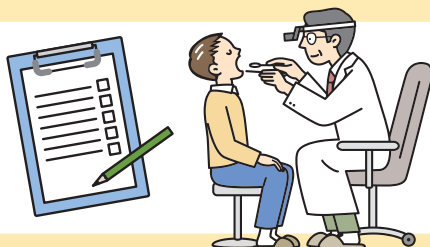
市民の皆さんの思いをかたちにし、「選ばれる都市」であり続けられるよう、市は8年度もあらゆる課題に継続的に取り組んでいきます。重点的に取り組むこととしている施策のうち、特に市民の皆さんの生活に身近である取組を中心に紹介します。

子育てがしやすく、子どもたちが安心して学べるまちへ

小児医療費の助成
対象を拡充します

73億8,789万円

小児医療費助成の対象年齢などを拡充し、高校生年代までをサポートします。



体育館の空調を
整備します

4億2,070万円

3年後の11年度末までに全ての市立学校体育館に空調設備を設置することを目指し、スピード感をもって取組を進めます。



これからも安全で快適に暮らせるまちへ

防犯カメラの
設置を拡充します

9,512万円

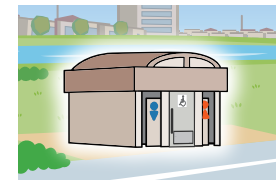
犯罪の発生を防ぎ、さらなる安全・安心なまちづくりに向けて、防犯カメラの整備と、町内会・自治会などへ設置費補助の取組を進めます。



多摩川河川敷のトイレを
リニューアルします

1億3,000万円

多摩川河川敷の利便性向上のため、トイレの整備に取り組みます。8年度は丸子橋周辺エリアに6棟を整備します。11年度までに計28棟の整備などを実施する予定です。

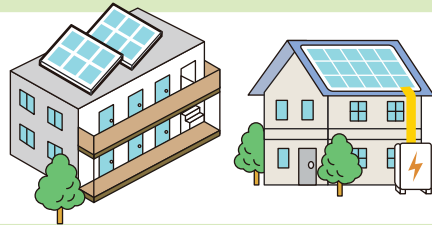


環境に優しいまちへ

太陽光発電などへの
補助をさらに充実
させます

7億2,000万円

脱炭素社会の実現に向け、
太陽光発電設備・蓄電池な
どの補助制度の対象を個人
住宅だけでなく共同住宅に
も広げています。



プラスチック資源の
回収を市内全域に
拡大します

15億6,576万円

今まで「普通ごみ」として収集・焼却していた
「プラスチック製品」を「プラスチック製容器
包装」と一緒に「プラスチック資源」として
4月から収集してリサイクルしています。
併せて処理施設の改修などを行います。



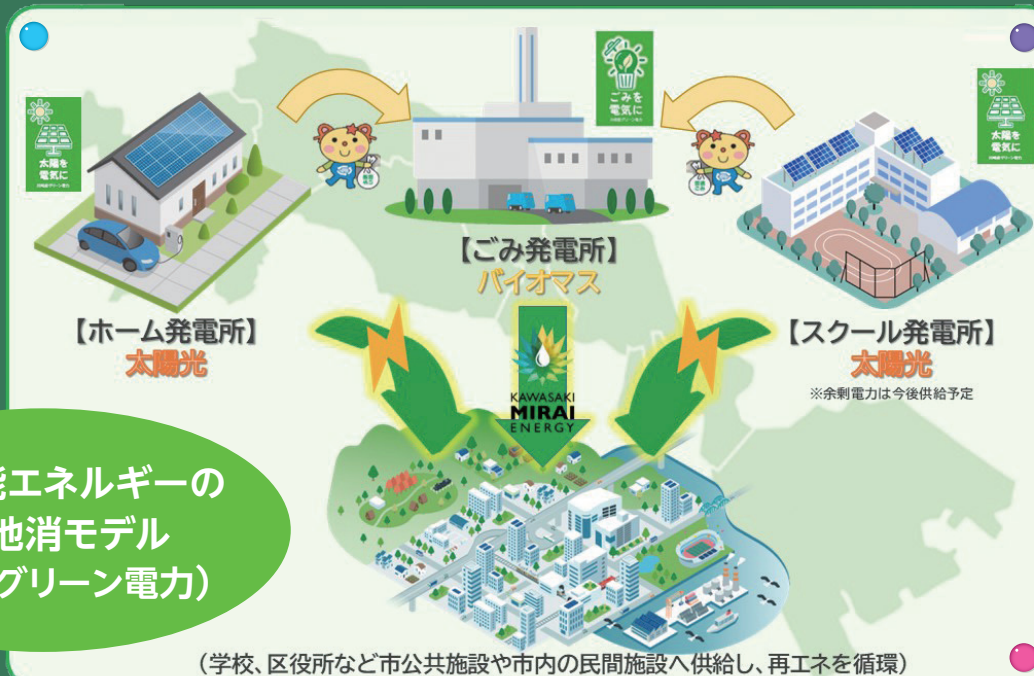
プラスチック資源

\ PICK UP /

地域でつくり、地域で使う エネルギーの地産地消の 取組

市内で作られた地球にやさしいクリーンな電気
(再生可能エネルギー) を、地域エネルギー会社
を通じて、学校や等々力緑地のスタ
ジアムなどに供給することで、
エネルギーの地産地消に取り
組んでいます。

再生可能エネルギーの
地産地消モデル
(川崎産グリーン電力)



月 日 曜 日 直

01

「予算」は目的に応じてつくられています



予算って何？

市では、教育、福祉、ごみ処理、消防、道路の整備など、様々な行政サービスを市民に提供していますが、どのような行政サービスにどのくらいお金を使うかについて、あらかじめ決めておく必要があります。そこで、新しい年度が始まる前に、税金などの収入（歳入）と、行政サービスの費用などの支出（歳出）の金額を見積もり、事業の内容を計画します。この見積もりを「予算」といいます。



「予算」は市長が案をつくり、市議会が決定します。





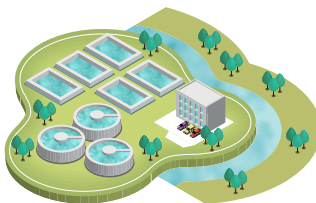
目的などに応じて「予算」は大きく3種類あります。

企業会計

病院や水道などは、それ自体が民間の会社のように活動していて、基本的に自らの収益で運営されています。川崎市には現在5つの企業会計があります。



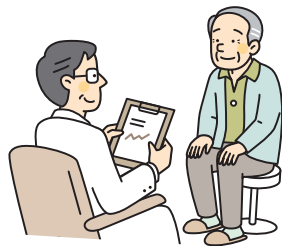
病院事業



水道事業

特別会計

国民健康保険や市場なども市の仕事の一部です。これらは特定の収入があるため独立した予算で収支を明確にし、一般会計とは分けています。川崎市には現在13の特別会計があります。



国民健康保険事業



卸売市場事業

一般会計

市の基本的な仕事（教育、福祉、ごみ処理、消防、道路整備など）を行う予算です。主に市税で賄われています。



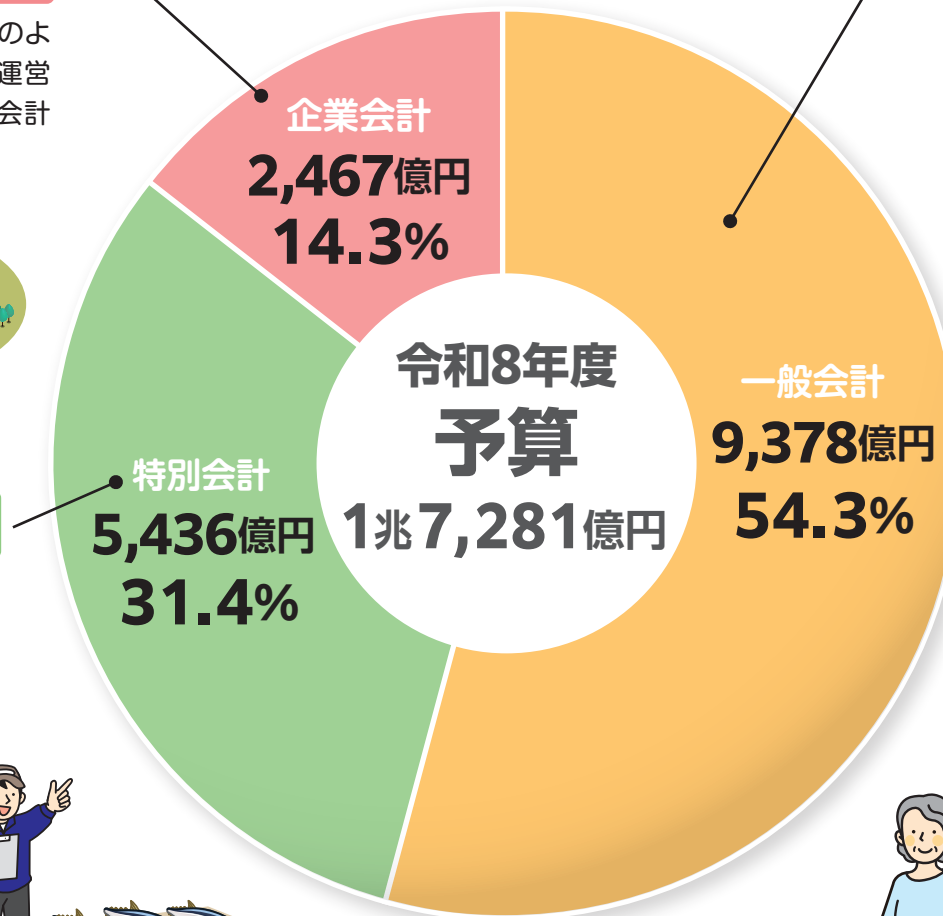
教育



道路整備



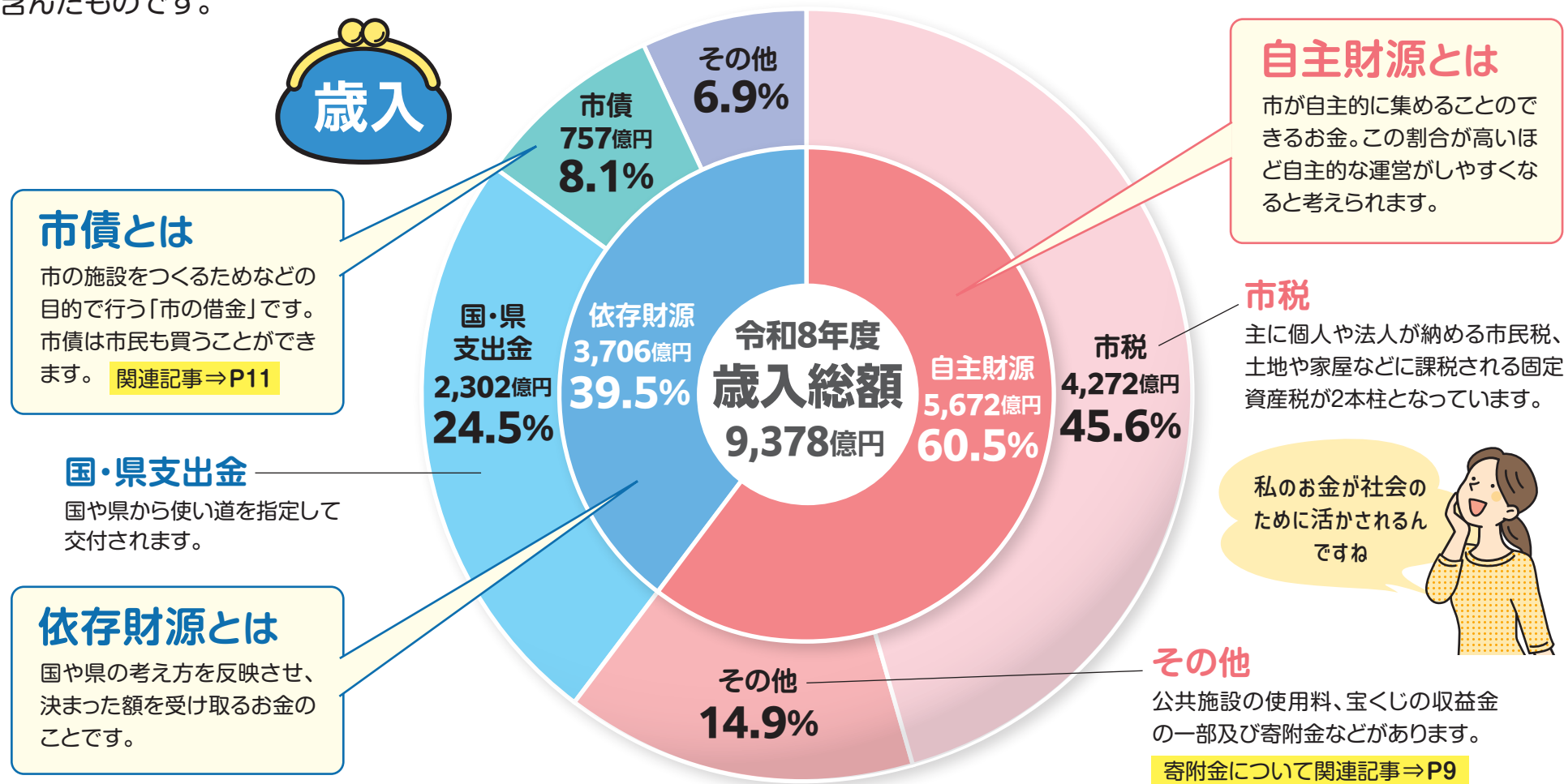
福祉



02

一般会計は市の予算の中心 最も大きな「おさいふ」です

収入と支出のことを市の財政では「歳入・歳出」と呼びます。よりよい行政サービスを提供するため、市民が納める税金などのお金をあらかじめ使い道を決め計画的に役立てる、それが予算です。なかでも一般会計予算は最も金額が大きく、幅広い分野を含んだものです。





歳出

物件費

光熱費や施設の管理費、
消耗品や備品の
購入費など

補助費等

事業や団体への
補助金など

投資的経費とは

道路や学校の建設費など。国の
補助を受けて行うもの（補助事
業）と、市が単独で行うもの（単
独事業）、また、災害で壊れた道
路などをなおすために行うもの
（災害復旧事業）があります。



その他

市内の中小企業を支援する
ために貸すお金、他会計に
出すお金など

扶助費

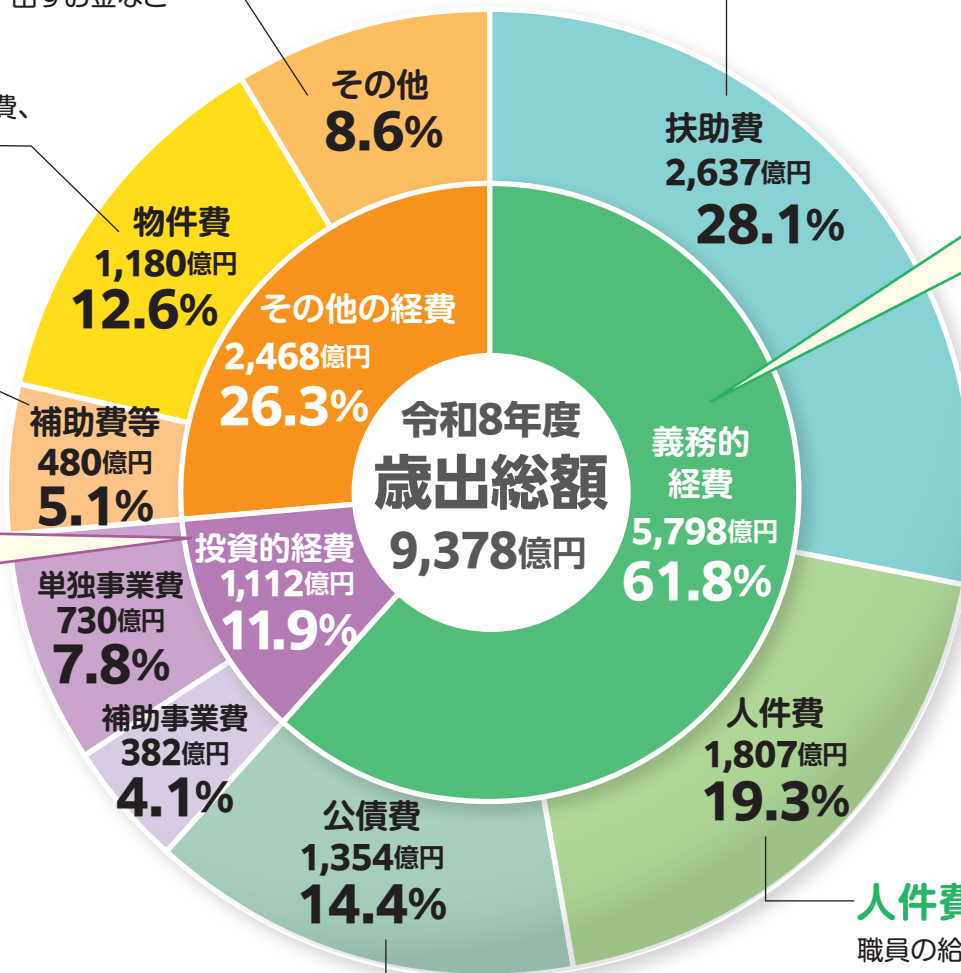
子育てをしている方々や生活に
困っている方々への支援など

義務的経費とは

歳出のうち、必要となる見込み
の金額が決まっています。支出が
義務付けられているため簡単に
削減できない経費のこと。
職員の給与などの人件費、生活
保護費などの扶助費及び市債の
償還（借金の返済）のために必
要な公債費からなっています。



義務的経費は
いわゆる「固定費」と
考えることが
できますね



公債費

市債の償還（借金の返済）など

人件費

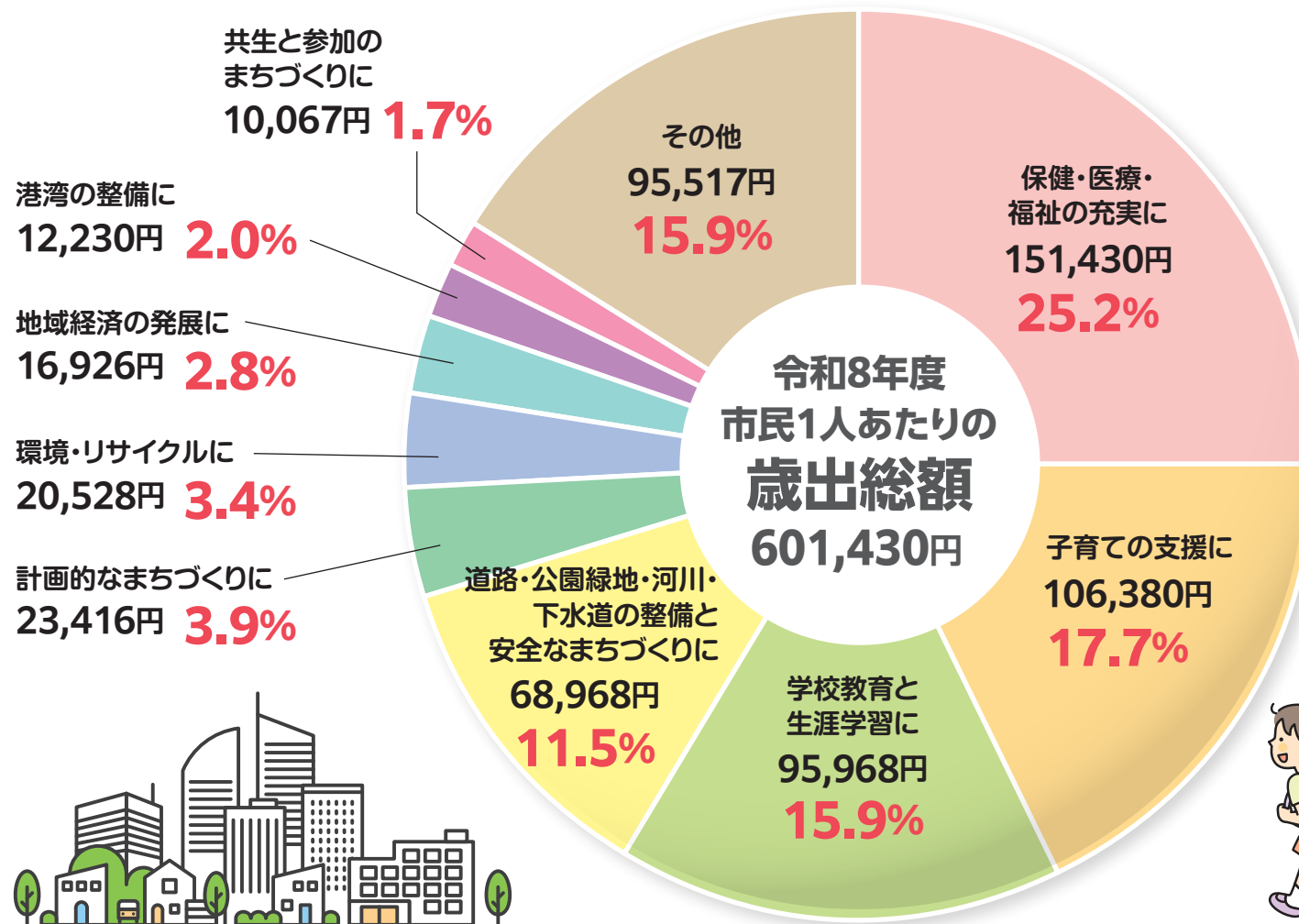
職員の給与や
議員の報酬など

関連記事⇒P11

03

市民1人あたりの予算の使い道は？

一般会計予算（9,378億円）を人口で割り、1人の市民にとって予算がどんな割合で使われているかを図にしました。



巨大な金額の予算を
「1人あたり」に置き換えて
見ると、イメージしやすく
なりますね



※「令和8年度予算について」に基づき作成

04

市民生活に身近なことに予算が使われています

日常的な光景でどのくらいの予算が使われているかはわかりにくいものです。
身近なものとして実感しやすい、いくつかの例を紹介していきます。

ごみ 処理

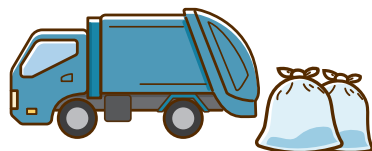
ごみ、資源物の収集処理に要する経費

ごみの収集や焼却、資源物のリサイクルにかかる経費など

年間**162億円** 世帯数:795,778世帯
(令和7年9月1日現在)

1世帯あたりの負担額

年間**20,403円**



子育て

保育園の運営に要する経費

公立保育園、民間保育園の運営費など

年間**699億円** 対象園児数:34,881人
(月平均)

園児1人あたりに必要な経費

年間**2,004,685円**



環境

公園の維持管理に要する経費

草刈や樹木の剪定にかかる経費など

年間**39億円** 公園管理面積:7,757,801㎡
(市民生活に身近な公園＝

2,500㎡あたりの経費

約2,500㎡の広さが目安)

年間**1,255,984円**



福祉

介護保険サービスに要する経費

介護サービス、介護予防の実施にかかる費用など

年間**1,225億円** 要介護・要支援
認定者数:68,398人

対象者1人あたりに必要な経費

年間**1,791,877円**



教育

「かわさきGIGAスクール構想」の推進に要する経費

学習端末の更新にかかる経費など

年間**10億円** 市立学校・学級・児童生徒数:105,077人
(令和8年5月1日現在)

生徒1人あたりに必要な経費

年間**9,563円**



防災

川崎市の防災に要する経費

マンホールトイレの整備など

年間**262億円** 川崎市の人口:1,561,780人
(令和8年1月1日現在)

市民1人あたりの負担額

年間**16,757円**



05

川崎市におけるふるさと納税の現状と取組



市税の意義と役割

これまで見てきたように、欠かすことのできない様々な行政サービスの多くは、皆さまが住む川崎市が担っていますが、それは主に皆さまで分かち合いながら負担いただいている市税により賄われています。市税は、皆さまが地域で暮らしていくうえで必要な社会共通の費用に使うための「会費」のようなものです。

ふるさと納税とは？

ふるさとを応援したいという納税者が、住んでいる地域（＝自治体）以外にも寄附ができる制度であり、寄附額の一部を市税から控除（＝税金の計算から除くこと）することができます。

※多くの自治体において寄附した金額に応じた返礼品を用意。

ふるさと納税の仕組み

（川崎市以外の自治体へ寄附する場合）



川崎市民

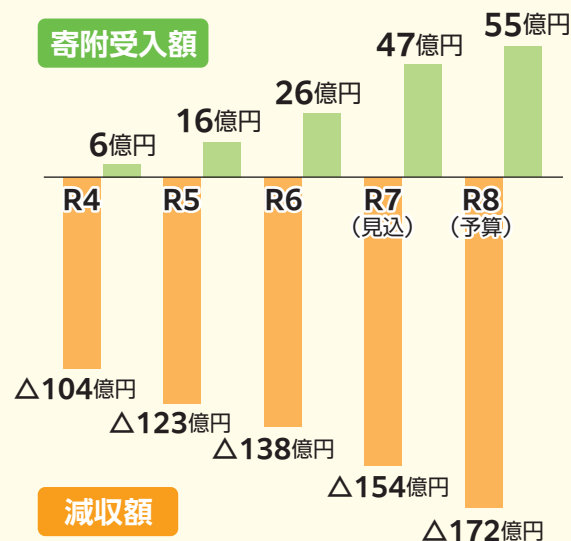


他の自治体



川崎市

ふるさと納税の現状



寄附受入額は

55億円

市税の減収額は

172億円

*令和8年度当初予算
時点の見込み

172億円は園児数8,600人分（対象園児数の約25%）の保育園の運営に要する経費と同程度です。



「ふるさと納税」によって流出している市税は、
本来は、私たち川崎市民のために使われる貴重な財源です。

06

行政サービスは、市税のほかに 市債(借金)によっても賄われています



市はなぜ市債の発行をするの？

学校などの公共施設を建てるために、多額のお金が必要ですが、その年度の予算だけを使った場合、施設は何年も使うのに、建設費を負担するのは、その時の市民だけになってしまい不公平が生まれますし、ほかの行政サービスに予算が回らなくなるなどの影響が出てしまいます。そのため、市債を発行して借入をし、将来の市民にも平等に負担をしてもらうようにしているのです。

それぞれに納税者となる時期が異なるので…



最初の年～
10年後の
税で負担



11年後～
20年後の
税で負担



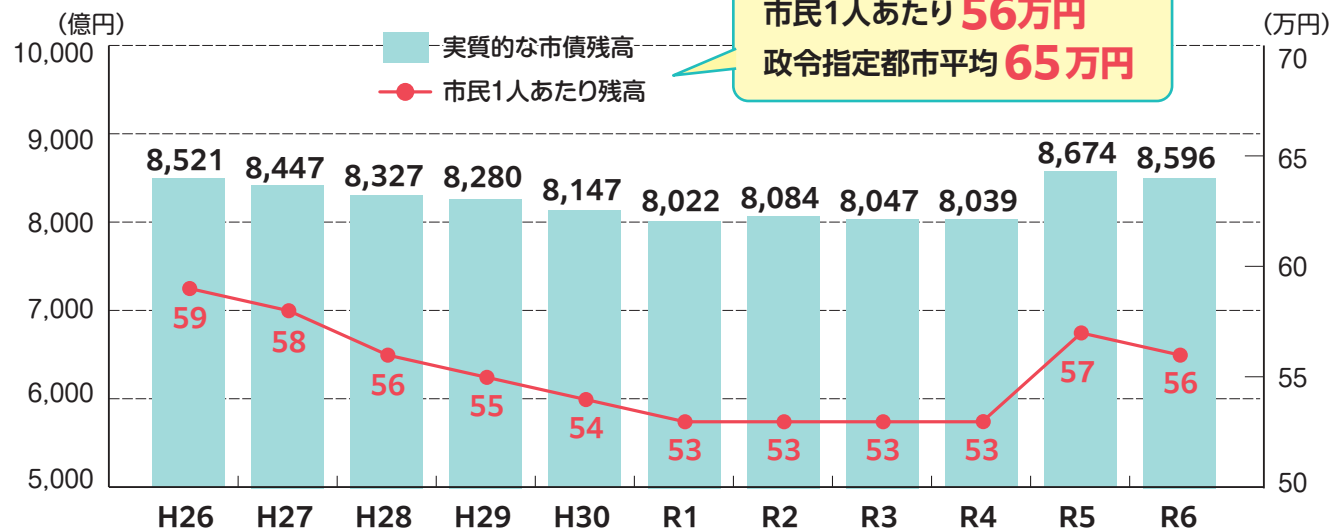
21年後～
30年後の
税で負担



どれくらい市債の残高があるの？

実質的な市債残高と 市民1人あたり残高の推移 (普通会計決算額)

全体の市債残高から積立(貯金)分を差し引いたものが「実質的な市債残高」です。この積立については次のページで説明しています。



💰 市債を返すお金はどうやって用意するの？

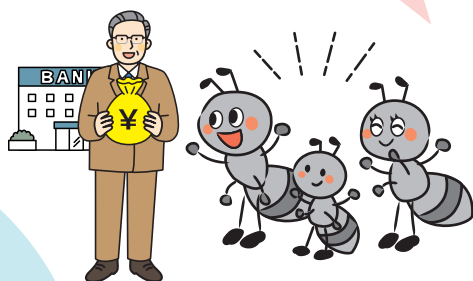
返済計画って 大事！



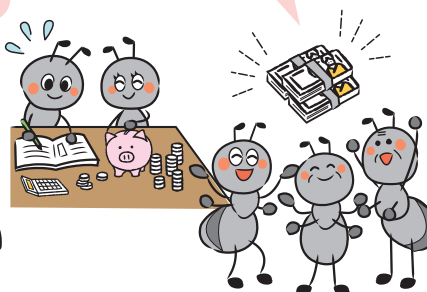
アリとキリギリスは銀行からお金を借りて、家を建てました。
銀行へは、30年後に一括で返す約束です。



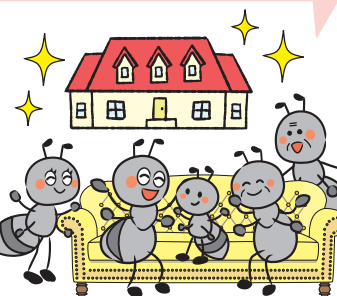
アリは、30年後の一括返済に備えて、毎年、返す分を貯金することにしました。



アリは計画通り貯金していたので返済できました。



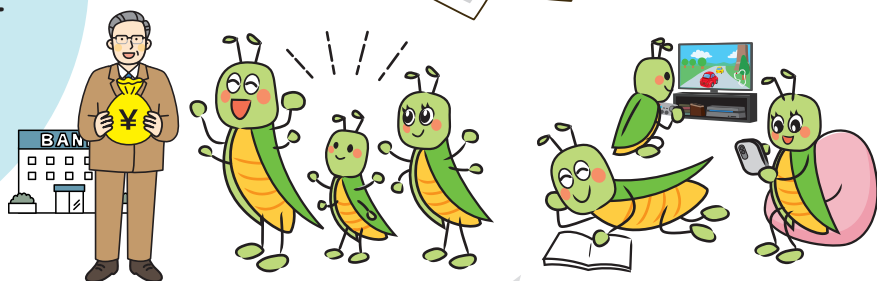
アリの家族は家の修繕も行い、みんなで未長く幸せに暮らしました。



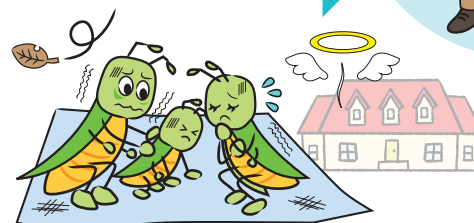
30年後返済する日が来ました



キリギリスは30年も先のことから、まだ大丈夫と考え貯金をせず、お金を使ってしまいます。



キリギリスは借金を返済できず、家にも住めなくなりました。子どもには借金が残し、生活も苦しくなりました。



返済のために計画的に貯金しないと世代間の負担が不公平になったり、次の世代に負担を先送りすることになってしまいます。**計画に基づき、貯金していくことはとても重要です。**

07

みんなのまちづくり ~より良い川崎市にするために~

これまでのページを参考に、あなたが考える「使い道」へ予算 **100億円** を配分してみよう!

① 次の「使い道」の予算配分を考えよう

1

保健・医療・福祉の充実に

例えば…ウォーキングアプリ「かわさきTEKTEK」の運用

R8予算
25億円

あなたの予算

億円

2

子育ての支援に

例えば…小児医療費の助成

R8予算
18億円

あなたの予算

億円

3

学校教育と生涯学習に

例えば…市立学校の体育館等の空調設備の整備

R8予算
16億円

あなたの予算

億円

4

道路・公園緑地・河川・下水道の整備と安全なまちづくりに

例えば…多摩川河川敷トイレの改善

R8予算
12億円

あなたの予算

億円

5

計画的なまちづくりに

例えば…空き家を有効活用する取組

R8予算
4億円

あなたの予算

億円

6

環境・リサイクルに

例えば…プラスチック資源のリサイクル

R8予算
3億円

あなたの予算

億円

7

地域経済の発展に

例えば…新技術・新製品開発に要する経費への補助

R8予算
3億円あなたの予算
億円

8

港湾の整備に

例えば…臨港道路、埠頭用地の整備

R8予算
2億円あなたの予算
億円

9

共生と参加のまちづくりに

例えば…障害者スポーツ大会の開催

R8予算
2億円あなたの予算
億円

▼ そのほか「使い道」を新たに追加してみよう!

10

あなたの予算
億円

11

あなたの予算
億円

12

あなたの予算
億円

合 計 100 億円

② あなたが考えるまちづくりは

「最幸のまち かわさき」をめざして

「成長」、「成熟」とそれを支える「基盤づくり」の
3つの視点で、それぞれの施策を進め、誰もが幸せを
感じられるまちの実現を目指していきます。

※最幸とは…川崎を幸せあふれる「最も幸福なまち」にしていきたい
という思いを込めて使用しています。



▶さらに詳しい情報はこちらをご覧ください

川崎市 財政

検索

<https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-3-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



▶ご意見・ご感想をぜひお寄せください

アンケートにご協力ください <https://logoform.jp/f/aWtlB>



川崎市財政局財政部庶務課

電話 044-200-2176 FAX 044-200-3904

Email 23syomu@city.kawasaki.jp